

当技術センターでは中小企業の皆さんの技術基盤の強化や技術者等の養成、新事業展開に役立てていただくため、各技術分野のセミナーや講習会を開催しています。今年度を実施予定のセミナーは下表のとおりです。それぞれの詳しい内容や開催日時は決まり次第、当センターのホームページやメールマガジンでお知らせしていきます。

※メールマガジン受信のご登録は右記からいただけます。●https://www.kptc.jp/p_kankoubutsu/p_mandtnewsflash/



セミナー名	概要	開催時期 (予定)	担当
企業情報化支援セミナー	中小企業の情報化を支援するために、関連団体と連携して開催するセミナーです。情報システムを活用した業務効率化等のための最新技術や動向についての内容です。	6月、10月、1月	企画連携課 TEL:075-315-8635 E-mail:kikaku@kptc.jp
京都グッドデザイン戦略支援セミナー	デザインの活用を考えているが心配や不安のある経営者の方々を主な対象に、中小企業のデザイン導入事例等を紹介しながら独自の企業価値を高める「経営者にしかできないデザイン」を考えていただくセミナーです。	4月、9月、2月	
映像制作技術講習会	仕事の中で映像を利用した情報発信の機会が増えています。この講習会では初心者が失敗しがちな注意点をはじめ、本格的な撮影テクニック、機材選びから編集ノウハウまで実習を交えながら「映像技術の基礎」を学びます。	5月、6月、7月、 10月、11月、3月	
新規 機械設計基礎講座	機械設計者は設計から加工まで、広い知識が必要とされます。設計・製図に必要な材料・加工等の知識や寸法公差・幾何公差の知識について習得する講座を開催し、設計技術力の高い人材の育成を図ります。【詳細は右ページ】	7月、9月、11月	基盤技術課 TEL:075-315-8633 E-mail:kiban@kptc.jp
3D技術活用セミナー	三次元CAD、3Dプリンタ、3Dスキャナなど3D技術とその周辺技術の最新動向を紹介し、ものづくり企業の技術と製品開発力の向上、人材育成を支援するセミナーです。	7月、10月、2月	
ものづくり先端技術セミナー	ものづくり技術開発の高度化の促進を目的とした、新機能材料、表面処理技術、精密加工技術、計測評価技術等の先端的技術情報に関するセミナーです。	8月、10月、12月	
化学技術セミナー	新しい機能材料、加工技術、分析技術や国内外の化学物質規制などの情報を提供。また、RoHS規制等の国際的化学品規制や国内の環境関連法令への対応を支援します。	7月、11月	
電磁波技術セミナー	5G通信などのマイクロ波・ミリ波や電磁ノイズ対策(EMC)など、電磁波に関する様々な技術に関するセミナーです。これらの技術を用いた製品や技術開発をされている方、これから取り組もうとされている方を主な対象に開催します。	5月、6月、9月、 10月、12月、2月	応用技術課 TEL:075-315-8634 E-mail:ouyou@kptc.jp
光ものづくりセミナー	光関連技術分野の製品開発を行っている企業や、これから新規分野に進出を図りたいと考えている企業を対象に、光関連技術のトレンドや話題の提供を行うセミナーです。	9月、12月	
実装技術スキルアップセミナー	電子部品等の実装において、各社の課題となっている事象の解決を目的として、現場にて実装作業に従事されている方を対象に、はんだ付け技術の基礎から具体的な実習をメインにしたセミナーです。	12月	
食品・バイオ技術セミナー	食品・バイオ関連技術分野の製品開発・製造・販売を行っている企業を対象に、「新しい食品・バイオ技術」、「食品市場動向から見る技術開発の方向性」等の新しい技術情報を提供します。【詳細は右ページ】	7月、10月、2月	中丹技術支援室 TEL:0773-43-4340 E-mail:chutan@kptc.jp
表面技術セミナー	表面処理技術や評価技術、話題となっている製品、材料、加工技術等に関する幅広い情報の提供や大学等の研究シーズの発信を行うとともに、企業連携につながる研究テーマの発掘を目的としたセミナーです。	9月、3月	
IoT実習セミナー	デジタルトランスフォーメーション(DX)を進める上で欠かせない、電子部品をコントロールするために必要な基礎知識とプログラミングを、参加者自らがPCと試作ボードを使って学ぶ、実習中心のセミナーです。	9月～12月	
機器操作・活用セミナー	中小企業の技術者自らが当センター中丹技術支援室の機器類を操作、活用するとともに、より多くの評価を行い、生産現場での問題解決の幅を広げることができるようにする実習形式のセミナーです。	9月～12月	
工業技術研修	基礎技術力を高めて地域の若手技術者の養成を図るため、当技術センター中丹技術支援室の機器類を実際に操作して実施する研修。機械科コースと電気科コース(各37回)があります。(一社)綾部工業研修所(事務局:綾部商工会議所 TEL:0773-42-0701)の主催。	7月～	中丹技術支援室 TEL:0773-43-4340 E-mail:chutan@kptc.jp
新分野進出支援講座	中小企業の新分野への進出や展開を支援する講座。エネルギー、環境、健康、福祉などの分野を中心に、最新情報、取り組み事例、大学のシーズの紹介等を行います。	12月、2月、3月	
品質管理(QC)講座	ものづくりの現場における生産管理力の向上と、製品の信頼性向上のために重要な品質管理の知識を習得する講座です。QC検定3級レベルの基礎コースと、2級レベルの上級コースを開催します。	6月～8月	
産業人材育成基礎講座	中丹地域に立地する企業の技術者を対象にした、基礎的な知識を体系的に学べる講座です。本年度は表面処理技術に関する講座を開催します。	5月～9月	
京都大学宇治キャンパス産学交流会	京都大学宇治キャンパスにある4研究所(化学研究所、エネルギー理工学研究所、生存圏研究所、防災研究所)との産学交流会です。	6月、9月、 12月、2月	
けいはんな産学交流会	(公財)京都産業21との共催により、けいはんな学研地域に立地する企業の若手研究者の人材育成を目的に、大学、研究機関との交流会を開催します。	9月	

■今年度に開催する技術セミナーから

幅広い知見で設計技術力を高める

機械設計基礎講座

思い描いた「機械」を実際に形にしていくときに重要な役割を担うのが機械設計者です。まず「どんな機械にしようか」という概念設計に始まり、基本設計、詳細設計、そして最終的には生産設計、つまり工場などで生産できるよう具体的な寸法や材質、使用する部品、加工や組立の方法などを記載した設計図に仕上げていきます。そこでは従来の設計・製図技術にとどまらず、強度や安全性、費用や納期、さらには環境に及ぼす影響、そして市場や世の中のニーズの把握など幅広い知識や視野が必要になります。



講座内容の一例です。

そのための基礎となる知識習得の場として、設計製図に必要な寸法公差、幾何公差や材料、加工方法等を内容とする講座を開催し、設計技術力の向上を支援します。

●問い合わせ先／基盤技術課 設計計測係

TEL:075-315-8633 E-mail:kiban@kptc.jp

食の未来がどう変わるか考える

食品・バイオ技術セミナー

このセミナーは食品等に関わる技術的課題について様々な角度から検討するとともに、関連する技術情報の提供を目的に

実施しており、昨年度からは「食べること」自体に焦点を当て、中期的スパンで継続して開催しています。最初はまず代替肉や培養肉、昆虫食、3Dフードプリンタ、完全自動調理ロボットなど最新のフードテックの状況を知り、それらの進化予測について知見を深め、次に我々がいつも感じている「あじ」は、においや見た目、食感の影響が大きいこと、そして人間は初めて接する食品には拒否的行動(新奇性恐怖)を行うこと、その上で昆虫を初めて食べる際に心理的ハードルを下げるための戦略などについて考えました。

講師との質疑応答やアンケートの回答などで参加者の方々が興味をお持ちの分野や技術、課題などをお聞きし、今年度はさらに関連企業へのヒアリング等を行って府内食品産業のニーズの把握に努め、食のさらなる工業化、デジタル化、DX化によって食の未来がどう変わっていくのか、どのようなビジネスが生まれるのかを考えるセミナーを企画、実施していく予定です。最終的にはこれからの「食」に関する技術について皆さんと一緒に考えていく研究会を立ち上げ、新たな支援施策の構築や支援体制の強化を図っていきます。

実はこのセミナーは当センターの中期事業計画の中で「待ちの組織から、導ける組織へー企業ニーズに即したソリューションの提供」をコンセプトに、所内横断的プロジェクトとして取り組んでいるものです。食品担当だけでなく機械、設計、化学、電気、デザインとプロジェクトメンバーそれぞれの専門と個性を活かし、多角的な視点でポストコロナ、ウイズコロナを見据えた食品産業の新たな課題を見出し、新規事業を提案しようとするものです。一緒になって考えよう、研究しようと思われる方はぜひご連絡ください。

●問い合わせ先／応用技術課 食品バイオ係

TEL:075-315-8634 E-mail:ouyou@kptc.jp

●お問い合わせ先／京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画連携係 TEL:075-315-8635 E-mail:kikaku@kptc.jp

— 想いをむすび、地域をゆたかに —

京信 ソーシャル・グッド預金

“世の中を少しでも良くしたい”という預金者の想いを6つのテーマに乗せて企業に託し、今も未来も安心して過ごせる地域をとともに創るための預金です。

ソーシャル企業
認証制度
S 認証

ESG経営や社会課題の解決を目指す企業の評価・認証を行い、**企業活動の社会的インパクトをみえる化する**制度です。社会課題に取り組む地域企業の成長を支えます。

京都信用金庫は、地域社会におけるソーシャルマインドの醸成及び持続可能な地域社会の実現を目指します。